

地域福祉とは？



それぞれの地域において誰もが安心して、しあわせを感じて暮らせるよう、地域住民や行政・関係機関がお互いに協力して地域社会の課題解決に取り組むことです。

地域福祉計画とは？

地域福祉の推進に取り組むための道しるべであり、地域住民や社会福祉協議会、行政などみんなの計画です。



土佐清水市の現状と課題

本市の人口は近年加速度的に減少しているとともに、高齢化率は50%を越えました。住民の2人に1人が高齢者という状況の中、一人暮らし高齢者の増加に伴う社会的孤立や孤独死、支え手不足等の課題が生じています。それに加え、後継者不足や就業者の高齢化等により、基幹産業の厳しい状況が就労機会の減少につながり、生活困窮等を招く現状となっています。



計画の趣旨

このような課題に対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは足りません。地域住民や地域の多様な主体が、世代や制度・分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことが必要です。

本計画は、誰もがしあわせを実感できる地域づくりを推進するために、支援を必要とする方を地域全体で支え、地域住民や社会福祉関係機関、行政などが協力して課題解決に取り組む道しるべとなるものです。

地域福祉推進のための「自助・互助・共助・公助」の考え方



「地域福祉」を進めるためには、地域に関わる人たちが地域福祉の推進という共通目的を持ち、行政や関係機関・団体、住民が、それぞれの特性を活かし生活課題の解決に向けて行動していかなければなりません。そこで重要になるのが「自助・互助・共助・公助」の考え方です。

「自助・互助・共助・公助」が連携し、地域全体で支え合い、助け合う地域づくりを進める必要があります。

自助

自分のことは自分で行うこと

- 自分の健康維持・増進をこころがける
- 自分から相談やサービスを受ける など

互助

隣近所や近い方同士の支え合い

- ご近所同士の声かけや見守り
- 近い人同士の生活支援 など

共助

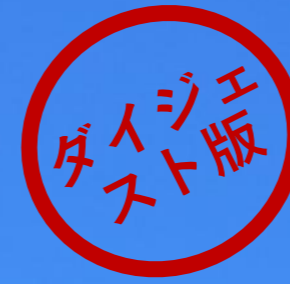
地域や共同体による支え合い

- いきいきサロンや運動教室などの集まり
- 地域での防災訓練 など

公助

行政が地域課題の解決に向けた自助、互助、共助の取り組みを支援すること

- 地域福祉推進のための基盤整備 など



土佐清水市 第4期地域福祉計画

みんな家族
地域の絆で支えあう
とさしみず



土佐清水市健康推進課

TEL：0880-82-1120

社会福祉法人土佐清水市社会福祉協議会

TEL：0880-82-3500



基本理念『みんな家族 地域の絆で支えあう とさしみず』のもと、地域福祉の充実を図るための目標を「重点目標」とし、その「重点目標」を達成するために何をすべきかを定めた目標を「活動目標」とします。その「活動目標」達成のために、住民や地域が主体となり取り組む具体的な活動を「住民・地域の取り組み」として記載しています。社会福祉協議会と市（行政）はこれらの目標に対する活動を支援し、推進していきます。



(一部抜粋)

重点目標 1

様々な生活課題を解決していくためには、地域住民同士のつながりや、世代・分野を超えた助け合いが必要です。

地域でつながるまちづくり

活動目標	住民・地域の取り組み
100歳めざそう健康づくり みんなが元気に暮らせるよう、健康づくりに取り組みましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 介護予防・認知症予防の取り組みをしよう ＊ 楽しく食べて生活リズムをつくろう ＊ 一日一回体を動かそう
未来につなごう伝統行事 伝統行事は地域コミュニティの維持活性化には欠かせません。持続可能な地域行事を目指しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域の歴史や伝統を若者につなげよう ＊ 地域の行事に参加しよう
見つけて使おう地域資源 地域には何があるのか、何ができるのか、どんなつながりができるのか、様々な視点から考えてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域の宝を発掘しよう ＊ 空き地や休耕地を活用しよう ＊ 海・山等の産物を活かそう
深めよう世代間交流 地域で世代を超えた交流の場をつくり、地域の発展につなげましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 子どもや若者が高齢者と集える機会をつくろう ＊ 集いの場をつくり継続させよう ＊ 男性が集う場所をつくろう

重点目標 2

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、日常生活に必要な買い物や通院時の移動手段について考えましょう。また、近年の異常気象により災害の危険性が高まっていることから防災に対する取り組みを進めましょう。

安心して暮らせるまちづくり

活動目標	住民・地域の取り組み
すすめよう生活(買い物・移動)の協力 日常生活に必要な買い物や通院等の移動支援を検討しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 移動手段の活用方法をみんなで工夫しよう ＊ 地域の商店を活用しよう ＊ 地域で買い物できる場所をつくろう
すすめよう体の元気と心の元気 一人ひとりが健康意識を高めましょう。心の健康についても支援体制を整備しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 健診を受けよう 勧めよう ＊ いまこそサロンを活性化させよう
すすめよう災害への備え いざという時のために、日ごろから地域防災体制を構築しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 過去の自然災害を風化させないようにしよう ＊ 避難訓練について考え、参加しよう ＊ 自宅の地震対策を見直そう

重点目標 3

誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、個人の努力や行政による公的なサービスだけでは十分ではありません。地域での支え合いや助け合いが必要です。

暮らしを支えるまちづくり

活動目標	住民・地域の取り組み
見守り・声かけ支えあうまちづくり 地域住民の中には、孤立や孤独への不安を抱えている人が少なくありません。より一層見守り体制の充実を図りましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 隣近所への見守り・声かけをしよう ＊ 子育て世帯への見守り・声かけをしよう ＊ 生活上気になる人を見つけたら 専門機関へつなごう
広げようボランティア活動 住民一人ひとりが「我が事」として、人と人とのつながりをもって地域の生活を支え合うボランティア活動に取り組ましよう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ ゴミ出し困難者への協力をしよう ＊ 受援力を高めよう～助けてと言える関係づくり～ ＊ 福祉協力員等とつながろう ＊ ボランティアグループをつくろう ＊ 地域を越えた有償サービスのしくみをつくろう

重点目標 4

様々な活動を通して、住民一人ひとりが優しさや思いやりをもち、相手の立場になって考えることのできる「福祉の心を育てるまち」を目指します。

福祉の心を育てるまちづくり

活動目標	住民・地域の取り組み
育てよう福祉を支える人材 地域では、福祉の担い手が固定化・高齢化しています。地域の中で支え合いに取り組む人材を発掘・育成しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域でリーダーの育成をしよう ＊ 地域福祉の大切さを広めていこう ＊ 地域生活課題への理解を深めよう
充実させよう福祉教育 学校や研修会等、様々な啓発の場を持つとともに、地域の中で声をかけ合い、福祉の心を育てる取り組みを進めましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域行事へ参加を促そう ＊ 子ども民生委員の活動を広めよう ＊ 体験学習を通して様々な立場の人への理解を深めよう

重点目標 5

人口減少が進み、地域コミュニティの運営が厳しくなる中、持続可能な地域をどのようにつくっていくか考えていきましょう。

若い人が住みたくなるまちづくり

活動目標	住民・地域の取り組み
活かそう地域の魅力 本市の魅力を活かした新たな人の流れをつくり、地域を盛り上げる取り組みを行いましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域の資源を活かした職業体験をしよう ＊ インターネット等で地域の情報を発信しよう ＊ 地域のつながりを活かしたUIターンの受け入れ体制をつくろう ＊ 空き家や休耕田を活用できるしくみをつくろう
みんなでつくろう地域の未来 全ての人々が支え合い・助け合いながら暮らせる地域を自分たちで考えつくり上げていきましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ＊ 地域の中で集まり、話し合いができる場をつくろう ＊ 若い人たちも相談しやすい地域の場をつくろう ＊ 地域の後継者を育てよう ＊ 身近な人との信頼関係をつくろう